

貸 借 対 照 表

(2018年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,289,509	15,408,971	1,880,538
前払金	2,136,500	3,375,300	△ 1,238,800
前払費用	241,800	390,720	△ 148,920
流動資産合計	19,667,809	19,174,991	492,818
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	3,100,273,711	3,072,484,727	27,788,984
現金預金	1,058,842	3,575,000	△ 2,516,158
基本財産合計	3,101,332,553	3,076,059,727	25,272,826
(2) 特定資産			
助成事業基金	193,565,028	205,592,141	△ 12,027,113
特定資産合計	193,565,028	205,592,141	△ 12,027,113
(3) その他固定資産			
器具備品	57,294	77,361	△ 20,067
電話加入権	145,600	145,600	0
投資有価証券	58,338,408	51,347,933	6,990,475
その他固定資産合計	58,541,302	51,570,894	6,970,408
固定資産合計	3,353,438,883	3,333,222,762	20,216,121
資産合計	3,373,106,692	3,352,397,753	20,708,939
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	295,535	377,814	△ 82,279
預り金	822,780	748,798	73,982
賞与引当金	311,071	304,309	6,762
流動負債合計	1,429,386	1,430,921	△ 1,535
2. 固定負債			
退職給付引当金	690,000	405,000	285,000
固定負債合計	690,000	405,000	285,000
負債合計	2,119,386	1,835,921	283,465
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	3,101,332,553	3,076,059,727	25,272,826
指定正味財産合計	3,101,332,553	3,076,059,727	25,272,826
(うち基本財産への充当額)	(3,101,332,553)	(3,076,059,727)	(25,272,826)
2. 一般正味財産	269,654,753	274,502,105	△ 4,847,352
(うち特定資産への充当額)	(193,565,028)	(205,592,141)	(△12,027,113)
正味財産合計	3,370,987,306	3,350,561,832	20,425,474
負債及び正味財産合計	3,373,106,692	3,352,397,753	20,708,939

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

- ①満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)
- ②その他有価証券
 - ・時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法
 - ・時価のないもの……移動平均法に基づく原価法

(2)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(器具備品)……定率法

(3)引当金の計上基準

- ①賞与引当金
 - ・従業員の賞与支給に備えて、内規に基づく支給額を計上しております。
- ②退職給付引当金
 - ・従業員の退職給付に備えて、内規に基づく期末要支給額の100%を計上しております。

(4)消費税等の会計処理の方法

税込み方式によっております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	3,072,484,727	130,814,310	103,025,326	3,100,273,711
現金預金	3,575,000	1,058,842	3,575,000	1,058,842
小 計	3,076,059,727	131,873,152	106,600,326	3,101,332,553
特定資産				
助成事業基金	205,592,141	1,819,623	13,846,736	193,565,028
小 計	205,592,141	1,819,623	13,846,736	193,565,028
合 計	3,281,651,868	133,692,775	120,447,062	3,294,897,581

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	3,100,273,711	(3,100,273,711)	(0)	-
現金預金	1,058,842	(1,058,842)	(0)	-
小 計	3,101,332,553	(3,101,332,553)	(0)	-
特定資産				
助成事業基金	193,565,028	(0)	(193,565,028)	-
小 計	193,565,028	(0)	(193,565,028)	-
合 計	3,294,897,581	(3,101,332,553)	(193,565,028)	-

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	310,320	253,026	57,294
合 計	310,320	253,026	57,294

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

当年度末に保有する満期保有目的の債券はありません。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	60,678,025
合 計	60,678,025

7. 金融商品の状況に関する注記

(1)金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託により資産運用する。

(2)金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスク、為替変動の市場リスクにさらされている。

(3)金融商品に係るリスク管理体制

①資産運用規定に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③市場リスクの管理

株式については時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。
為替変動については、為替相場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。